

「ともに生きる豊かな地域社会」

令和8年1月1日発行 1月号

にいはま社協だより



発行・編集 新居浜市社会福祉協議会

<http://www.n-syakyo.jp>

〒792-0031 新居浜市高木町2-60 総合福祉センター(ふれあいプラザ)内 TEL 32-8129 FAX 31-3531 E-mail info@n-syakyo.jp

子どもたちの “やさしい気持ち”をたたえて



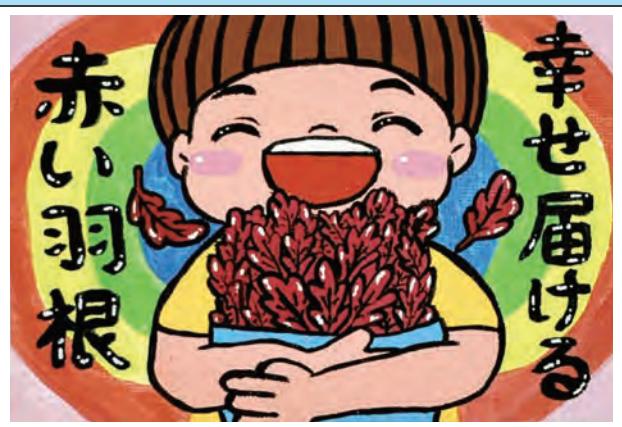
令和7年11月30日、総合福祉センターで「社会福祉大会」が開催されました。大会では、地域福祉に貢献された方々の表彰のほか、「ふくしの作品」入選者の授賞式も行われました。

「**ふだんの くらしの しあわせ**」をテーマに寄せられた作品には、子どもたちのやさしいまなざしや思いやりの気持ちがあふれています。

P2~3に受賞作品を掲載しました。ぜひご覧ください。

令和7年度 ふくしの作品 入選作品決定！

みなさんから、あたたかい気持ちのこもったすてきな作品がたくさん届きました！ありがとうございました！



募金箱デザイン画 部門
小学生(低学年)の部 最優秀賞

泉州小学校 2年 松尾 紗奈



募金箱デザイン画 部門
小学生(高学年)の部 最優秀賞

角野小学校 5年 高橋 愈夢



福祉作文 部門 中学生の部 最優秀賞

小さな親切

僕が福祉について初めて深く考えるようになったのは、学校の総合学習の時間がきっかけでした。「福祉とは何かを調べよう」というテーマで授業が始まり、クラスで調べ学習をしたり、地域の施設について話し合ったりしました。でも、正直なところ、最初はあまり実感がわきませんでした。「高齢者や障がいのある人のための支援」と言われても、どこか他人事のように感じていました。そんな僕の考えが変わったのは、一つの体験からでした。

夏休みのある日、祖母の家に遊びに行ったときのことです。近くのスーパーと一緒に買い物に行くことになり、僕は祖母の荷物を持ちながらついていきました。買い物が終わって店を出ると、目の前で白い杖を持ったおばあさんが道の真ん中で立ち止まっていました。どうやら道に迷っているようで、不安そうな顔をしていました。僕は少し迷いました。「声をかけてもいいのか？逆に迷惑じゃないか？」という気持ちがありました。でも、祖母がそっと僕の背中を押して、「声をかけてあげたら？」と言いました。勇気を出して「大丈夫ですか？」と声をかけると、そのおばあさんはほつとしたような表情で、「駅まで行きたいんだけど、道がわからなくなってしまって」と答えてくれました。僕は祖母と一緒に、おばあさんを駅まで案内しました。おばあさんは「ありがとうございます、助かったわ」と何度もお礼を言ってくれました。そのとき、僕は「福祉って、こういうことなんじゃないか」と思いました。

中萩中学校 2年 保利 朔真

福祉というと、特別な資格を持つ人だけがする仕事だと思っていました。でも、自分にもできることがあるし、誰かを助ける気持ちや行動そのものが福祉なのだと気づきました。ちょっとした声かけ、手助け、気づかい。そういう「小さな親切」こそが、社会を優しくする力なのだと思います。

この体験をきっかけに、僕は学校の清掃活動や募金活動にも、今まで以上に前向きに取り組むようになりました。掃除をするときも、「誰かが気持ちよく使えるように」と考えるようになったし、募金を呼びかけるときも、「困っている誰かの力になる」と思うと、自然と声も大きく出るようになりました。

福祉とは、特別な人のためのものではありません。子どもも大人も、健康な人も体の不自由な人も、みんなが関係しているものです。そして、それを支えるのは一人ひとりの思いやりの心です。僕にもできることがあると分かったことで、これから行動にも少し自信が持てるようになりました。

将来、どんな仕事に就くかはまだわかりません。でも、どんな仕事でも、どんな場所でも、人の役に立つことができる人でいたいと思います。そして、自分がされた親切を、次は誰かに返していくらしいなと思います。これからも、小さなことでも「誰かのためにできること」を見つけて行動していきたいです。それが福祉の第一歩だと、今は思えるようになりました。



募金箱デザイン画 部門
中学生の部 最優秀賞

中萩中学校 3年 山内 麗央



募金箱デザイン画 部門
高校生の部 最優秀賞

新居浜南高校 2年 田中 来幸



福祉作文 部門 高校生の部 最優秀賞

介護の仕事に携わろうとしている自分にできること

新居浜南高校 3年 大塚 沙希

私は、今年の6月に福祉施設を訪問し、介護実習を行いました。そこで施設の概要を理解し、食事介助、水分作り・水分介助、入所されている利用者さんとのコミュニケーションをさせていただきました。

水分介助では、最初は介助の仕方が分からず不安でしたが、介助する際の声掛けの仕方やタイミングなどを職員さんから教えていただき、実践しました。食事介助の場面では、利用者さんに食事を配膳したり、実際に利用者さんの食事介助をさせてもらいました。介助を行っていて、「スプーンに乗せる食事の量」や「利用者さんが口を開けてくれない時の対処法」など色々な疑問を抱き、職員さんに質問してみると、「スプーンの3分の2ぐらいまで食事を乗せて利用者さんの口に持っていくことや「利用者さんが口を開けてくれない時は『もう一口食べませんか?』と声掛けを行うことが大事。」と教えていただきました。そのおかげで利用者さんに寄り添った介助を行うことができました。担当利用者さんとのコミュニケーションを多く図ることができ、その人の性格や個性について知ることができました。コミュニケーションを図る際には今の話題について話し、担当利用者さんの話を聞くときは、「傾聴・共感」の意識を持つことを忘れずにコミュニケーションを図りました。

先日、スマートフォンのニュースを見ていて、「ある2つの介護施設で高齢者差別を行っていたとして行

政処分を受けた。」というニュースが流れてきて、そのニュースを見たときに「介護職の人数が減っていくと、介護人材不足となり施設内で高齢者虐待が起こってしまう。」と思いました。現在では高齢者虐待が多くなっていて、なぜ虐待はにならないかと疑問に思い、調べてみました。その結果、高齢者虐待の原因は「介護者側のストレス」、「専門的な知識や意識の不足」などが挙げられていて、特に身体拘束に関する知識や意識が不足していると虐待が起こってしまうことが分かりました。このような虐待を防止するために介護職にできることを調べてみると、介護職にできることは職員のストレスケアや職場環境の改善などが挙げられており、「自分が勉強してきたことより多くのことが調べてみて分かったから、もっと虐待防止の方法についての知識を身に付けていこう。」と思いました。

次回の施設実習では、どの介助に対しても事前にもっと勉強して、積極的に介助の見学を行い、介助の実施を職員さんから言われる前に自分から積極的に申し出たり、介助をしていて少しでも疑問に思ったことはすぐに職員さんに質問して解決していきたいです。また、担当利用者さんだけでなく、他の利用者さんとも積極的にコミュニケーションを図り、コミュニケーション能力を今以上に高めていき、今後の自分の人生に生かせられるようにしたいです。

募金箱デザイン画 部門 優秀賞

【小学生(低学年)の部】

宮 西 小 学 校 1年

栗 田 粋 糸

宮 西 小 学 校 3年

栗 田 紡 希

【小学生(高学年)の部】

金 栄 小 学 校 6年

大 熊 遥 香

宮 西 小 学 校 6年

本 田 ま ゆ ら

【 中 学 生 の 部 】

南 中 学 校 1年

杉 本 真 優 果

泉 川 小 学 校 1年

森 本 み あ

【 高 校 生 の 部 】

新居浜商業高校 1年

加 藤 百 叟

新居浜工業高校 1年

越 智 太 慈

福祉作文 部門 優秀賞

【 中 学 生 の 部 】

中 萩 中 学 校 3年 上 野 り つ

「夏休み中のボランティアを通して学んだこと」

【 高 校 生 の 部 】

新居浜南高校 3年 曽我部 愛樹

「ボランティア活動から感じたこと」

入賞作品は
こちらから
ご覧ください



ボランティア・市民活動センターHP

まごころ銀行って、なんだろう

まごころ銀行とは？

まごころ銀行は、皆さまからの「まごころ」の気持ちをお預かりする窓口です。預託（寄付）された金品は、地域の福祉のために活用させていただき、みんなが幸せになれる福祉のまちづくりを推進するための銀行です。また、預託者の意思に基づき、指定する施設などにお送りいたします。

どんなものを預託（寄付）できるの？

収益金・募金

チャリティーバザー、コンサートなど

物 品

車いすなどの福祉用具、施設が必要としているもの



慶弔返礼金

香典返しなど

遺贈寄付

自分の財産を未来の地域福祉に生かします

社会福祉法人に対する寄付金は、個人の場合は所得税及び県・市民税の控除の対象になります。

企業の場合は、法人税法における寄付金の損金算入の制度が利用できます。

まごころ銀行



一般預託

地域の福祉活動に活用されます。

指定預託

あらかじめ寄付先を指定（施設、団体、社協支部など）

いただいた善意は、様々な形で活用されています



子ども食堂へお米の寄付



社会福祉施設へクレヨンの寄付

預託（寄付）の方法は？

直接窓口にご持参いただくか、お振込みでも可能です。
振込口座についてはお問い合わせください。

問合先 総務企画課 ☎ 32-8129



講座

災害ボランティア入門講座

～災害が起きた時、助け合える地域に～

災害ボランティアを始めるための心がまえや現場での活動を学び、いざという時に、あなたの力を活かしてみませんか？

日 時 3月14日(土)
10:30~12:00

場 所 総合福祉センター 2階
第1研修室

講 師 社協職員

参加費 無料 申込は
定 員 30人 こちらから→

締 切 3月9日(月)



申込・
問合先 ☎ 65-1009

募集

地域で活動するボランティア団体を応援します！

ボランティア団体助成金

申請団体募集 (共同募金配分事業)

対 象 ボランティア・市民活動センターに登録しているボランティア団体等が主催し、令和8年度中に実施・完了する事業

助成額 1団体3万円まで ※審査の上、決定します

受付期間 1月5日(月)～30日(金)



←こちらのQRコードから
募集要項・申請書がダウンロード
できます。

申込・
問合先 ☎ 32-8129 FAX 31-3531

募集

障がい者レクリエーション大会

初めての方でも大丈夫。お気軽にご参加ください。

日 時 2月24日(火) 13:00～14:30

場 所 総合福祉センター 2階 多目的アリーナ

対 象 市内在住の各種障害者手帳または受給者証を所持する方とその介助者、ボランティアの方

講 師 楽SPO船木

参加費 無料

定 員 20人 ※先着順

準備物 上履き・タオル・飲み物

締 切 2月17日(火)



障がい者バドミントン大会

楽しく体を動かしましょう。お気軽にご参加ください。

日 時 3月15日(日) 10:00～12:00

場 所 総合福祉センター 2階 多目的アリーナ

対 象 市内在住の各種障害者手帳または受給者証を所持する方とその介助者、ボランティアの方

講 師 新居浜市バドミントン協会

参加費 無料

定 員 14人 ※先着順

準備物 上履き・タオル・飲み物

締 切 3月6日(金)



申込・
問合先 ☎ 33-3341 FAX 37-1710

くらしの総合相談

	登記・遺言・ 土地家屋調査相談	社会保険相談	精神障がい者 家族相談
相談員	公証人 司法書士 土地家屋調査士	社会保険労務士	精神障がい者 新居浜家族会
日 時	1月 8日(木) 2月 4日(水) 10:00～12:00	1月13日(火) 2月10日(火) 10:00～12:00	1月23日(金) 2月27日(金) 13:30～15:30

※登記・遺言・土地家屋調査相談及び社会保険相談は、先着6人程度(相談時間1人20分)

1階権利擁護課にて当日9:00から受付

※精神障がい者家族相談は、3階福祉団体室にて当日13:30から受付

※事前予約不可

一般相談：月～金曜日(祝日を除く) 8:30～17:15

場 所：総合福祉センター 1階 権利擁護課

問合先 権利擁護課 ☎ 47-4976

イベント



児童館の冬の行事



児童館では、冬も楽しい行事を計画しています。ぜひ遊びに来てくださいね。

	川東（☎32-8966）	上部（☎43-3612）	中央（☎34-8600）	瀬戸（☎41-1983）
行事名	むかしあそび大会 ～あそび横丁～	冬のお楽しみ会	冬のお楽しみ会	むかしあそび大会
日 時	2月1日（日） 10：00～12：00	2月8日（日） 14：00～16：00	2月14日（土） 10：00～11：30	2月14日（土） 10：00～11：30
対 象	年少児～小学6年生まで	こども～大人まで		年少児～小学3年生まで
幼児は保護者同伴				
定 員	50人程度	100人程度	40人程度	60人程度
申 込	1月10日（土）～	1月24日（土）～	1月20日（火）～	1月31日（土）～
各児童館へ直接申込または電話にて申込（定員になり次第締切）				
内 容	こま、けん玉、ポックリ他	ドミノ、カプラ たまごとダエンの積み木	絵本の読み聞かせ ワークショップ	こま、けん玉、竹馬他

募集

地域の笑顔を支えるホームヘルパーさん募集中！

時 納 通常:1,380円 夜間早朝:1,700円 土日祝日:1,830円
(介護職員手当・処遇改善手当(一時金)・交通費・通信費支給あり)

資 格 ヘルパー2級・初任者研修修了者・介護福祉士・看護師・准看護師のいずれか
※初任者研修は愛媛県HPを参照ください

時 間 8:00～18:00の間で応相談 ※週1回からご自身のペースでOK!

【調理実習の様子】



職員満足度
アップ中！

相談しやすく協力しあえる雰囲気
働きやすさ、多くの職員が実感しています！

※アンケート実施 R7.5



問合先 介護事業課 ☎ 32-8339



令和7年8月1日～11月30日

たくさんの善意をありがとうございます。

「まごころ銀行」は皆さまの善意(寄付・寄贈)をお預かりし、市内の福祉活動に役立てています。

香 典 返 し

日野家一同

一 般 寄 付 (順不同・敬称略)

新居浜建築技能者労働組合(写真)

旦之上地域の自然を守る会

島村 和子

新居浜陶芸研究会 会長 森井 恵美子

新居浜リバーサイドマラソン実行委員会

小女郎たぬき踊り保存会

明星 信子

谷口設備(有)

住友化学労働組合 愛媛支部 青年部

上部高齢者福祉センター 陶芸サークル楽朋会

新居浜市社会福祉協議会 金子支部



ありがとう！



◎この広報紙は、皆さまから寄せられた「まごころ銀行の寄付金」「社協会費」「共同募金の配分金」などによって発行しています。